

経営比較分析表 (令和3年度決算)

京都府 長岡京市

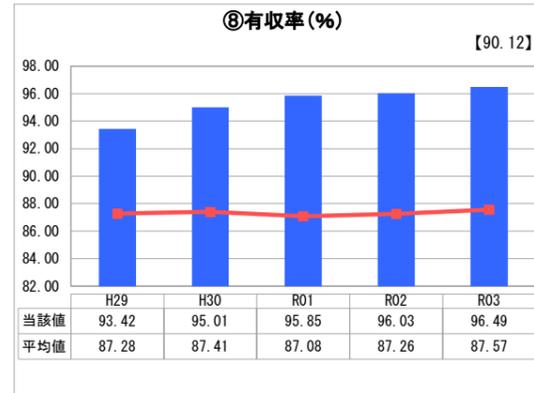
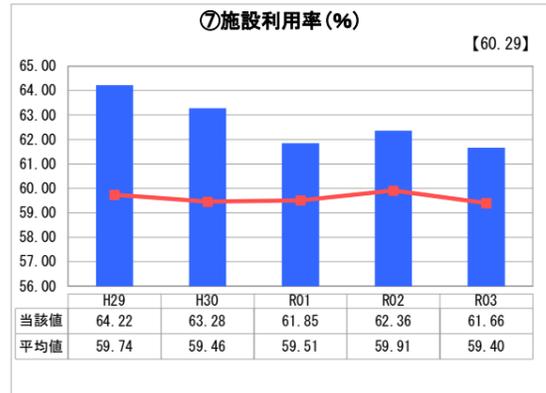
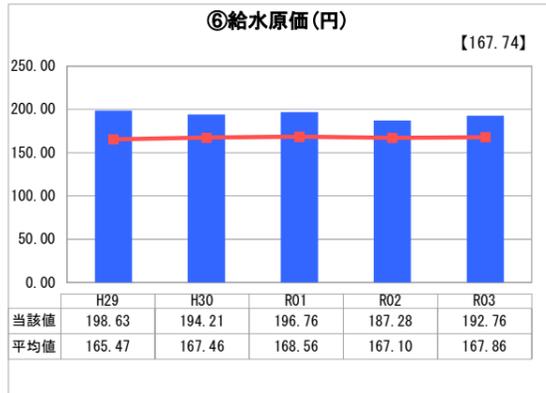
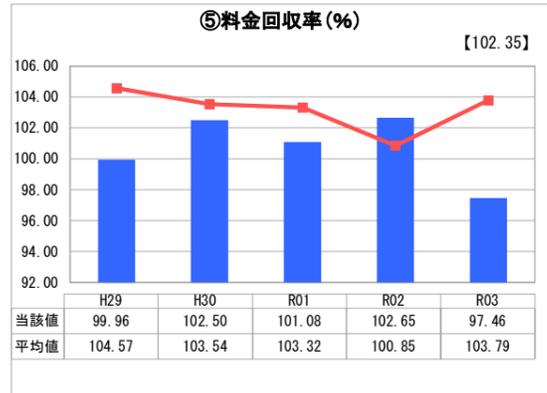
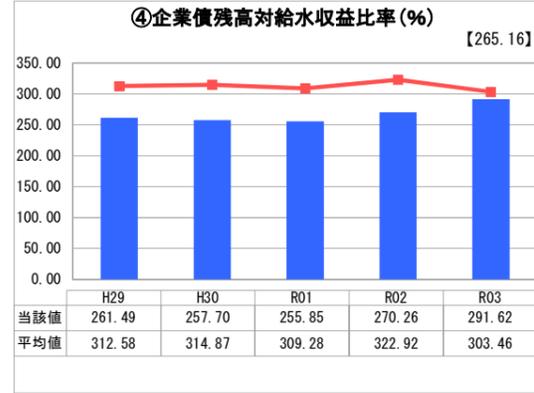
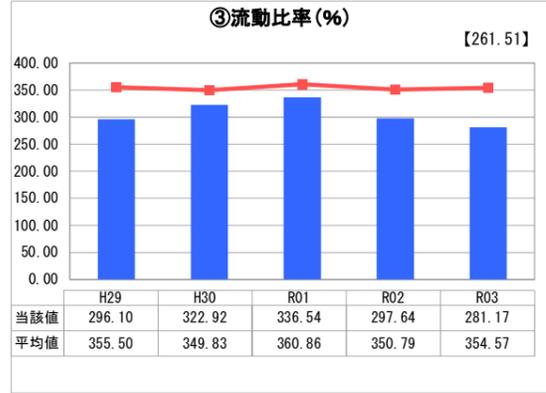
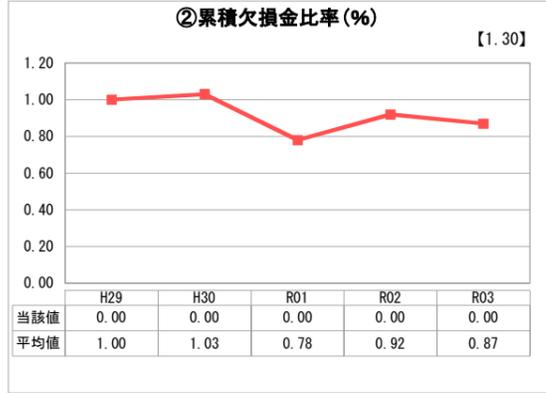
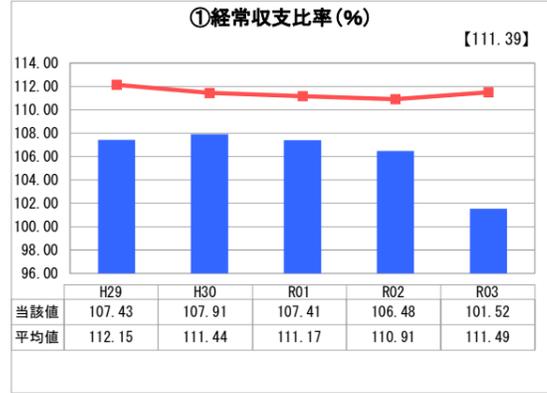
| 業務名        | 業種名          | 事業名     | 類似団体区分                          | 管理者の情報 |
|------------|--------------|---------|---------------------------------|--------|
| 法適用        | 水道事業         | 末端給水事業  | A4                              | 非設置    |
| 資金不足比率 (%) | 自己資本構成比率 (%) | 普及率 (%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円) |        |
| -          | 62.09        | 100.00  | 2,981                           |        |

| 人口 (人)     | 面積 (km <sup>2</sup> )     | 人口密度 (人/km <sup>2</sup> )   |
|------------|---------------------------|-----------------------------|
| 81,169     | 19.17                     | 4,234.17                    |
| 現在給水人口 (人) | 給水区域面積 (km <sup>2</sup> ) | 給水人口密度 (人/km <sup>2</sup> ) |
| 81,507     | 12.36                     | 6,594.42                    |

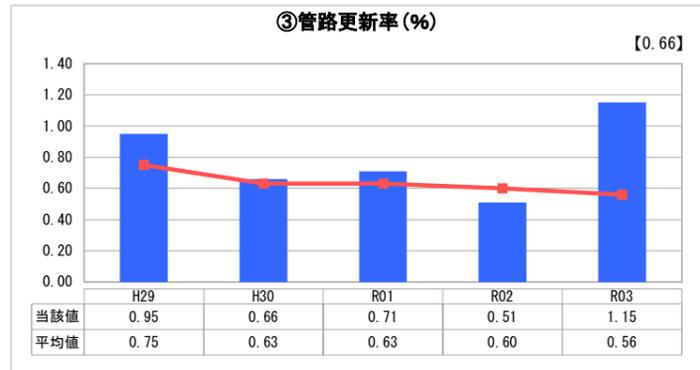
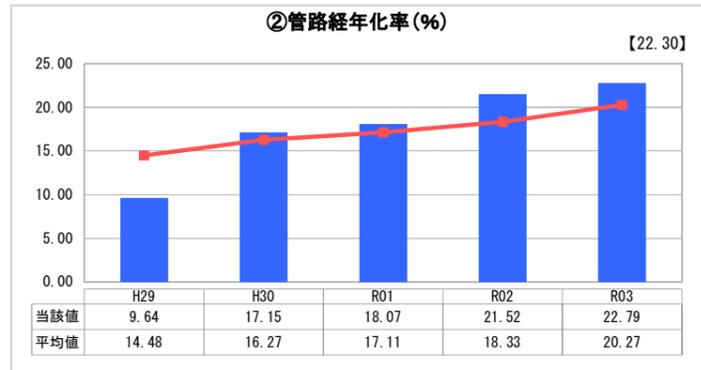
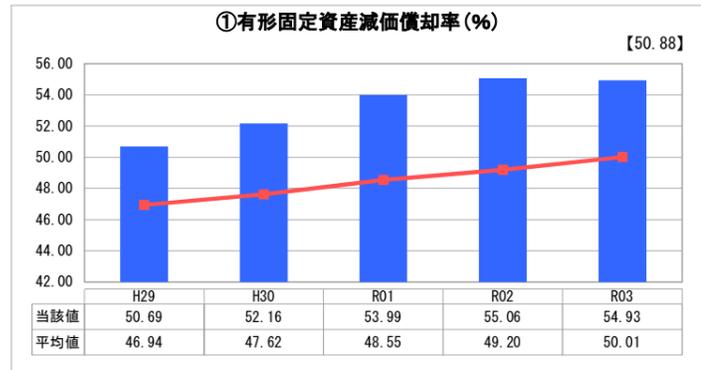
**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 令和2年10月に水道料金を引き下げる改定を行った為、給水収益が減少しており前年度に比べ経常収支比率が減少しています。経常収支は100%を超えていますが、健全経営に取り組みます。  
 ② 流動比率は300%前後を推移しています。効率的な事業運営を行い資金確保に努めます。  
 ③ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均値を下回っていますが、施設の更新による企業債借入額が増加しており、推移に注視します。  
 ④ 料金回収率は全国平均値及び本市前年度より下回っていますが、コロナ禍や令和2年10月に実施した料金改定による影響を注視していきます。  
 ⑤ 給水原価は、類似団体平均値を上回っており、経費削減に取り組みます。  
 ⑥ 施設利用率は、類似団体平均値を上回っており効率的な運用ができています。  
 ⑦ 有収率は、計画的な管路の更新と漏水調査を実施し、高率を維持しています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率及び②管路経年化率は類似団体、全国平均ともを上回っており、老朽化が進んでいると考えられるので、計画的な施設の更新等を今後も進めていく必要があります。  
 ③ 管路更新率は前年度を大幅に上回りました。基幹管路など優先順位を考慮しながら計画的な施設の更新に取り組んでいます。

全体総括

令和元年度までの10年間は、長岡京市水道ビジョンに基づき、経営の健全化を図るとともに、効率的な事業運営を行えるよう施設の再構築に取り組みました。  
 令和2年度からは、令和11年度までの10年間を計画期間とする長岡京市上下水道ビジョン（経営戦略）に基づき、人口減少等で水需要の減少が見込まれる中、将来にわたり安全で安心な水道水を安定的に供給していくための取り組みを進めています。計画的な施設の更新を進めるとともに、事業の効率化を図り、経営基盤の強化に取り組みます。